

## 大日本コンサルタント

大日本コンサルタントは、長時間労働の解消など働き方を改善するため、火種運動推進事務局を設置、本格的な活動を始めた。高久社長は、「4年前くらいから火種運動と言って、ボトムアップで職場ごとに働き方を変える検討を行

い、できるものは実践している。いとしは仕事が増え残業が多くなっている。組織的に取り組む」と背景を説明する。同社は従来、支社や担当分野によって仕事に



高久社長

# 残業削減へ 働き方改善

## 火種運動推進事務局が始動

それぞれの職場でどのような議論があり、対策を講じているのかといった情報を共有して、効果的な方法は水平展開するために事務局を設置した。事務局は本社と6

対する取り組みや方法が異なることから、職場ごとに  
残業の削減、品質の向上、  
経費の節減などを実施して  
いた。しかし、職場単位で  
完結するのではなく、それ

度。女性の場合、結婚や出産を機に退社するケースが多いが、今後は少子化で女性の活用が不可欠となるため、中途退職者を減らすには労働時間や休暇取得などの面で配慮が必要となっている。

高久社長は、「残業が問題として顕著に表れるのは女性の方なので、どうすれば削減できるか男性よりも真剣に考えている。個人的な悩みを相談する場でもあるが、働き続けるには会社としてどういう配慮や制度が必要か提案してもらいたい。男性の過重労働改善にもつながる」と期待している。